

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	伝統的文化の保存と継承	施策No	09-03	部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課
				課長名	漆畑 内線 3350

関連部課名	
-------	--

行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進

目的
区に伝わる有形・無形の文化財を、区民全体の財産として保存・継承するとともに、そのすばらしさを広く内外に周知し、未来へと伝える。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		29年度	30年度	元年度	
①	地域への愛着度	2.90	2.88	2.91	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
①	ふるさと文化館利用者数（人）	20,059	19,897	20,085	15,700	24,500	展示室観覧者＋伝統工芸ギャラリー
②	伝統技術展参加職人数（人）	65	65	65	-	66	令和2年度は中止
③	学校職人教室実施学校数（校）	24	24	24	24	24	全校で実施している
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額
	給与関係費	45,694	59,941	14,247	地方税	0	0
	物件費	62,578	71,035	8,457	国庫支出金	1,000	1,000
	維持補修費	1,870	38,006	36,136	都支支出金	1,287	5,388
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	20,557	16,254	▲ 4,303	使用料及び手数料	311	374
	減価償却費	40,228	40,228	0	その他	380	426
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,978	7,188
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,332	1,837	505	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 169,281	▲ 220,113
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	172,259	227,301	55,042	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 169,281	▲ 220,113
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	1,912
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	1,912	1,912	当期収支差額(e)+(h)	▲ 169,281	▲ 218,201

貸借対照表	勘定科目			流動負債	勘定科目		
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,050	▲ 1,050
	有形固定資産	645,141	607,686	▲ 37,455	その他の流動負債	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	8,474	▲ 8,474
	建物	1,489,932	1,492,706	2,774	特別区債	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 844,791	▲ 885,020	▲ 40,229	退職給与引当金	8,474	▲ 8,474
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	9,524	▲ 9,524
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	864,403	841,558
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	864,403	841,558
	その他の固定資産	228,786	233,872	5,086	負債及び正味財産の部合計	873,927	841,558
	資産の部合計	873,927	841,558	▲ 32,369			

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として物件費や維持補修費の割合が高くなっている。物件費は主に建物維持業務や光熱水費、伝統技術展の会場設営委託料が占めており、維持補修費は荒川遊園煉瓦塀の耐震補強整備費用が主である。
○行政収入では国庫支出金及び都支出金がある他、使用料及び手数料としてふるさと文化館入館料等、その他収入として有償頒布物代金がある。
○貸借対照表に計上されている有形固定資産は「ふるさと文化館」に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区では条例に基づき文化財の登録・指定を行い、文化財の保存・継承に努めている。とりわけ、江戸時代から引き継がれてきた伝統工芸技術においては、多くの指定無形文化財（工芸技術）の保持者がいる。そうした伝統工芸技術に気軽に触れ合える場として、平成29年5月開設の「あらかわ伝統工芸ギャラリー」において展示や実演を行っている。</p> <p>○荒川ふるさと文化館では、区の歴史や民俗資料、文化財を紹介する企画展を定期的実施している。また、単一自治体が実施する日本最大規模の事業として「あらかわの伝統技術展」を開催し、伝統工芸技術を魅力を内外に発信している。</p> <p>○子どもたちに対しては、伝統工芸技術を体験できる「あらかわ職人道場」や、伝統工芸技術保持者を学校に派遣し、技術の実演・解説・体験学習等を行う「あらかわ学校職人教室」を実施している。</p> <p>○伝統工芸技術の継承者育成を目的として、研修手当や指導料の助成する「伝統工芸技術継承者育成支援事業（荒川の匠育成事業）」を実施しているほか、修了者等の作品展など、若手職人の周知・PRのための支援も行っている。</p>
課題	<p>○区の伝統文化のすばらしさを区内外に広く浸透させ、未来に引き継ぐためには、様々な場面を通じて、その魅力に直接触れる機会を子どもたちをはじめ、多くの方々に提供することが重要である。</p> <p>○伝統工芸技術の修得には長い年月を要することから、伝統工芸技術者自身のたゆまぬ技術の向上・研鑽と併せ、長期間にわたり後継者を育成するための支援が必要である。</p> <p>○伝統工芸技術や伝統工芸品の素晴らしさを多くの方々に知ってもらい、また、実際に使用して良さを感じてもらえるよう、伝統工芸技術保存会との協働により、「あらかわ伝統工芸ギャラリー」の更なる活用を考えるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで伝統工芸の振興を図る必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○次代を担う子どもたちをはじめ、区に住む人々が伝統文化に対する理解を深め、区の文化財等を通じて郷土への愛着と誇りを持つことができるよう、「荒川ふるさと文化館」の収蔵資料や常設展・企画展の更なる充実を図るなどにより、伝統文化のすばらしさを区内外に積極的にPRする。</p> <p>○伝統工芸技術を未来に継承するため、伝統工芸に興味・関心があり、職人となる希望を持つ若者に対して、見習いとしての現地実習から本格的な修業、作品展による周知に至るまで、ステップに合わせたサポートにより支援を継続して行う。</p> <p>○荒川ふるさと文化館に整備した「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を拠点として、伝統工芸技術の実演や体験、伝統工芸品の展示などを行い、荒川区の伝統工芸の魅力を広く発信していく。併せて、伝統工芸品のPRや伝統工芸技術者の紹介などホームページ等ITを活用して、これまで以上に充実を図る。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
荒川ふるさと文化館管理運営費	05-02-22	103,475	109,105	57,729	63,273	推進	推進	区の歴史・文化を学び、親しむための拠点施設の運営に関する事業であるため、推進する。
荒川ふるさと文化館事業推進費	05-02-23	13,648	16,792	5,802	7,041	継続	継続	区民が郷土の歴史や文化に親しみ、知識を深めるために必要な事業であるため、今後も講座・展示等を継続して実施する。
文化財保護奨励費	05-02-25	18,388	59,244	12,847	52,034	重点的に推進	重点的に推進	区の貴重な有形・無形文化財を次代に伝えるとともに、区の文化資源として活用する事業であるため、重点的に推進する。
江戸伝統技術	05-02-26	36,747	42,161	32,550	35,181	重点的に推進	重点的に推進	江戸から受け継がれてきた荒川区の伝統工芸技術とその保持者を、地域の文化遺産として保存・継承・活用するための事業であり、重点的に推進していく。
合計		172,258	227,302	108,928	157,529			